

10月

6 [土]

19:00-20:00
＜東ノ間＞

蓄音機コンサート「ジャズ・ソロの挑戦」（予約制，1ドリンク制 500円，定員 20名）
大澤 啓

— 独創性溢れる演奏者の即興を重視するジャズにおいて、ソロ演奏は欠かせない要素です。とはいえ、初期ジャズは合奏中心であり、独奏がジャズの中核を成すまで、ジャズ自体の複雑な成長プロセスが必要でした。ここでは、1920年代から40年代までのSP盤で、ジャズに置けるソロの誕生を振り返ります。選曲と解説はジャズ史研究家の大澤啓氏。

7 [日]

14:00-16:00
＜由布市ツーリスト
インフォメーションセンター＞

蓄音機コンサート「ジャズ・ダンス・パノラマ」
大澤 啓

— ジャズとダンスは不可分な文化です。新しいジャズ・スタイルが生まれる度に、それに合うダンスが工夫されました。1930年代スウィング・ジャズの黄金期を中心に、ジャズとダンスを結ぶ歴史をSP盤で辿ります。選曲と解説はジャズ史研究家の大澤啓氏。

13 [土]

13:00-16:00
＜湯布院公民館ホール＞

ゆふいん音さんぽ♪ — ハーモニカ演奏会
大分県ハーモニカアンサンブル研究会 21団体

— 「大分県ハーモニカアンサンブル研究会をはじめ 21 団体の競演。ハーモニカは「銀色の恋人」「ポケットに入るオーケストラ」などと言われ、その音色は多くの人々の心を魅了しています。童謡、唱歌、演歌、ポップス、クラシック等幅広いジャンルの演奏をお楽しみください。

18:30-20:00
＜カフェ・ラ・リュージュ＞

蓄音機コンサート「桑原茂一の奢侈の耳@湯布院」（入場料 1,000円，定員 50名，予約制）
桑原茂一

— “選曲は想像力への呼びかけです。一度曲に纏わるすべての情報をさっぱり忘れてください。と同時に、選曲とは不適格な画像を無闇に投射します。言い換えれば、左脳で解釈する音楽から、右脳に身を任せる選曲への誘いです。題して、「桑原茂一の奢侈の耳」湯布院 SP 盤編。” 桑原茂一氏は初代選曲家・free paper dictionary 編集長

14 [日]

13:00-16:00
＜湯布院公民館ホール＞

ゆふいん音さんぽ♪ — 神楽公演
由布院神楽保存会・並若神楽社・ゆふいん子供神楽社・湯平子供神楽

— 由布院神楽保存会・並若神楽社・ゆふいん子供神楽社・湯平子供神楽、以上の4社が公民館に集結。躍動感溢れる舞いをご覧ください。

16 [火]

14:30-15:30
＜温水園（入園者限定）＞

蓄音機コンサート「元気の出る昭和歌謡」
高田秀夫

— 入園者を対象にしたコンサート。昭和歌謡の名曲を聴いていただいて元気になっていただけます。選曲・解説は歌謡曲研究家の高田秀夫氏

18:00-19:00
＜やす形＞

蓄音機コンサート「戦後歌謡の黄金時代」
高田秀夫

— 昭和 20-30年のもっとも歌謡曲に花が咲いた時期の歌をたっぷりお聞かせします。選曲・解説は歌謡曲研究家の高田秀夫氏

17 [水]

18:30-21:00
＜カフェ・ラ・リュージュ＞

ディナーショー「沖縄の食と音楽」（料金未定，定員 20名，予約制）
小島圭史

— 沖縄を本拠に活躍する店舗を持たないフレンチのシェフ、小島圭史。食材はもちろん、それを育んだ土壌や生産者にも敬意を表し、味わいや風土の特性などから導いた独創的なコースは、集う人々を魅了しています。この秋はどんな驚きが？

27 [土]

13:00-14:00
＜乙丸公民館＞

ゆふいん音さんぽ♪ — 太鼓公演
ゆふいん源流太鼓・三代目源流少年隊

— 今や大分県を代表する和太鼓集団ゆふいん源流太鼓とその少年部、三代目源流少年隊の迫力あるパフォーマンスをお楽しみください。

28 [日]

1回目 13:00-14:30
2回目 16:00-17:30
＜東ノ間＞

蓄音機文楽「近頃河原達引」より「堀川猿廻しの段」（入場料 2,000円，定員 50名，予約制）
人形浄瑠璃文楽座

— 豊竹古鞠太夫（太夫）と鶴澤清六（三味線）が昭和7年に録音した名作義太夫「近頃河原達引」より「堀川猿廻しの段」のSP盤を蓄音機で再生しながら、文楽を上演します。昭和の大名人と平成の人形遣いの時代を超えた夢の共演が実現！2回公演。

11月

1 [木]

18:30-20:00
＜庄屋サロン＞

蓄音機コンサート「ぼくの心が震えた 20 世紀の名演奏家たち」（定員 30名，予約制）
有田正広

— カザルス、クライスラー、サッチモ、ピアフ、ひばりなど、蓄音機の時代の録音の数々を取り上げ、心を震わせる演奏とは何かを、フルート奏者の有田正広氏が、演奏家の視点から語ります。普段あまり聞けない話がいかに話でしょうか。

2 [金]

19:00-21:00
＜アルテジオ＞

クラシック演奏会「18 世紀音楽への誘い」（入場料 1,000円，定員 100名，予約制）
有田正広(fl)・有田千代子(hc)

— コレリ、スカラッチェ、ヘンデル、ラモー、ルクレールなど、18 世紀バロックの名曲のエッセンスを、フルートとチェンバロの演奏（それぞれの独奏を含む）でお聴きいただけます。有田氏の含蓄に富んだ解説とともにお楽しみください。

3 [土]

16:00-17:30
＜玉の湯＞

蓄音機コンサート「小林秀雄と音楽—玉の湯で聴く その1」（定員 20名，予約制）
三浦武・杉本圭司

— モーツァルト、ストラディヴァリウス、メニューヒン… この偉大な思想家の傍らではいつも音楽が鳴っていた… 小林秀雄の思索を導き、ときにその生を潤した音楽を、数々のエピソードとともに、小林秀雄にゆかりの深い「玉の湯」の蓄音機でお聴きいただけます。選曲と解説は小林秀雄学徒の杉本圭司氏、三浦武氏。

4 [日]

10:30-12:00
＜玉の湯＞

蓄音機コンサート「小林秀雄と音楽—玉の湯で聴く その2」（定員 20名，予約制）
三浦武・杉本圭司

14:00-15:30
＜梅屋＞

ワークショップ—ろう管蓄音機への録音・再生（定員 10名，予約制）
有田正広(fl)・山中恵理子(vn)

— エジソンが発明したろう管蓄音機は再生だけでなく録音もできるものでした。では、実際に録音してみたらどのような音が再生されるのか、フルートとヴァイオリンの生演奏を110年余り前の蓄音機を使って録音・再生してみます。有田正広氏はフラウト・トラヴェルソの先駆者にして第一人者、指揮者・研究者としても活躍、有田千代子氏は日本を代表するチェンバロ奏者の一人。

10 [土]

18:30-20:00
＜アルテジオ＞

ピーター・バラカン 出前 DJ in 湯布院（入場料 1,000円，定員 100名，予約制）
ピーター・バラカン

— 「音を録音する」ということで生まれてきたレコード芸術初期の話から、現在と当時の音の違いに関して、録音方法、再生機器の変化（蓄音機→レコードプレーヤー→CD→ダウンロード→ストリーミング）によるミュージシャンの音作り（意識）の変化の歴史などを音楽とともに解説します。ピーター・バラカン氏はラジオ DJ、音楽評論家。

25 [日]

18:30-20:00
＜カフェ・ラ・リュージュ＞

ゆふいん蓄音機倶楽部 Talk & Music イベント — ブラジル音楽の魅力（仮称）
堀内隆志・福田利之（定員 30名，予約制）

— 鎌倉の有名店 café vivement dimanche のオーナーであり、ブラジル音楽の紹介を長年続けている堀内隆志氏と、ゆふいん蓄音機倶楽部のロゴをデザインしたイラストレーター福田利之氏がブラジル音楽と蓄音機をキーワードに語っていただきます。

*以下の場所では文化祭期間中、蓄音機を聴くことができます。
詳しくは地図をご覧ください。
＜ゆふいん辻馬車（一部）＞＜岩下コレクション＞＜Bar Stir＞

プログラムは変更になることがあります。
詳細は「ゆふいん蓄音機倶楽部」のホームページをご覧ください。
<https://yufuin-chikuonki.net>

